

高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第47週 （11月18日～11月24日）

インフルエンザ予防接種はお早めに

インフルエンザワクチンを接種して抗体による予防効果が表れるには約2週間かかります。抗体は5ヶ月程度持続すると言われていたことから、流行が始まる12月頃までに接種することが望めます。予防接種には、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症をある程度抑える効果や重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられています。かかりつけ医等医療機関にご相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↑：増加 →：横ばい ↓：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	2.93	安芸で急減していますが、須崎、幡多、中央東で急増、県全域で増加し、高知市、中央西では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	1.77	中央西で急減していますが、安芸、須崎で急増しています。
伝染性紅斑	↑	1.03	中央西で急減、中央東で減少していますが、須崎、幡多で急増、県全域、高知市、安芸で増加し、県全域、高知市、安芸、須崎では注意報値を超えています。
手足口病	→	0.63	須崎で急増、高知市で増加しています。
インフルエンザ	↑	0.52	県全域、中央西、高知市、安芸、中央東、幡多で急増しています。

★地域別感染症発生状況



<予防方法> 手洗い、咳エチケットが有効です

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
47	感染性胃腸炎	37℃,下痢,	1	男	須崎	Astrovirus NT
47	伝染性紅斑	上気道炎,発疹,	10	女	高知市	Epstein-Barr virus human parvovirus B19
47	伝染性紅斑?	37℃,発疹,	7	男	須崎	human parvovirus B19
47	伝染性紅斑	37℃,発疹,	8	男	須崎	Human herpes virus 7 Human herpes virus 6
47	—	咳嗽,口内炎,	2	女	高知市	Human herpes virus 7
47	上気道炎	40℃,咳嗽,上気道炎,	1	女	幡多	Human metapneumovirus
47	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,気管支炎,	13	男	高知市	Streptococcus pyogenes T1

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
43	感染性胃腸炎	下痢,	9ヶ月	男	高知市	Staphylococcus aureus VII
46	手足口病	—	1	女	高知市	Coxsackievirus A16
46	気管支炎	40℃,気管支炎,	1	男	幡多	Coxsackievirus B5

<国内の手足口病由来ウイルス検出状況>

国内の手足口病由来のウイルス検出状況は、直近 5 週間(2019 年第 42 週～第 46 週)では、Coxsackievirus A16 の検出割合が最も多く 82% (9 件)、次いで Coxsackievirus A6 が 18% (2 件) となっています。

<国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近 5 週 (2019 年第 43 週～第 47 週) では、AH1pdm09 の検出割合が最も多く 92% (54 件)、次いで B (ビクトリア系統) が 5% (3 件)、AH3 が 3% (2 件) となっています。

また、インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 23 件、B 型 1 件、不明 1 件の報告があります

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	8	0～4 歳 男	高知市
		1		30 歳代 男	
		1		50 歳代 女	
		1		60 歳代 男	
5 類	百日咳	1	161	60 歳代 女	安 芸
		1		15～19 歳 女	幡 多

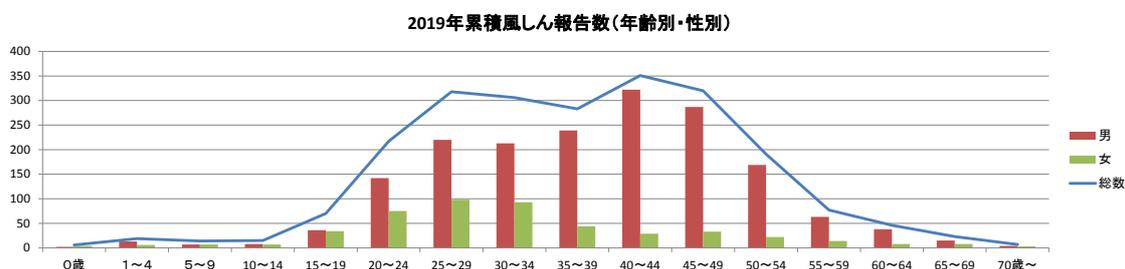
★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 気管支炎 1 例 (1 歳女)
	高知大学医学部付属病院小児科	ノロウイルス腸炎+カンピロバクター腸炎 1 例 (1 歳男) サルモネラ腸炎 1 例 (0 ヶ月男)
	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎とおもわれる胃腸炎増多するも、ノロ・ロタ病原体 検出されず
高知市	高知医療センター小児科	hMPV 1 例 (1 歳男) カンピロバクター 1 例 (9 歳女)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 2 例 (2 歳) マイコプラズマ肺炎 1 例 (6 歳)
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症 3 例 (1 歳男女、5 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 8 例 伝染性紅斑 3 例 (3 歳男、8 歳男女) 手足口病 3 例
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例 (5 ヶ月女) ロタウイルス 1 例 (6 歳男) サルモネラ 1 例 (8 歳女)
中央西	石黒小児科	インフルエンザ A 型 1 例 土佐市内でもインフルエンザ患者が出始めました
	くぼたこどもクリニック	手足口病 1 例 (2 歳女：仁淀川町)
須 崎	もりはた小児科	流行性角結膜炎 (アデノ陽性) 2 例 (3 歳、4 歳) hMPV 1 例 (1 歳女) 水痘 1 例 (ワクチン 1 回済み)
幡 多	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1 例 (4 歳男) hMPV 1 例 (0 歳男)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例 (8 ヶ月男)

★県外で注目すべき感染症

○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019年第1週～46週の報告数は2,263人となっており（2018年の同時期全国で2,207人）、95%（2,139人）が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に（男性1,778人、女性485人）に報告数の多い状態が継続しています。



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府以外に福岡県、愛知県、兵庫県、北海道、佐賀県など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなどさらなる注意・予防に努めましょう。

【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ

感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染

潜 伏 期 間 : 2～3週間程度

感染性のある期間: 発疹のでる7日前から発疹出現後7日くらいの間

【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

【予防方法】

・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。

風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1歳児、小学校入学前1年間の幼児の方）

・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠20週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りにいる方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。

抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

また、風しんの追加的対策として2019年4月1日から2022年3月31日まで以下の対象者は無料の風しん抗体検査及び定期の予防接種(第5期)を実施しています。

2019年度は、

・1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布

・1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

受診可能な医療機関をご確認のうえ、各医療機関にお問い合わせください。厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

なお、受診時には本人確認（免許証、マイナンバーカードなど）ができる書類をご持参ください。

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

(高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より)

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年11月25日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第47週 令和元年11月18日(月)～令和元年11月24日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(46週)	高知県(47週末累計)		全国(46週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/11/24	H30/12/31～R1/11/17	
小児科	インフルエンザ	2	3	13	6		1	25 (0.52)	7 (0.15)	9,107 (1.84)	13,959 (290.81)	1,487,409 (301.28)	
小児科	咽頭結核熱			3	2	1	6	12 (0.40)	8 (0.27)	1,599 (0.50)	740 (24.67)	61,952 (19.64)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	49	12	7	10	88 (2.93)	73 (2.43)	8,190 (2.58)	2,849 (94.97)	293,327 (92.97)	
	感染性胃腸炎	3	15	25		2	8	53 (1.77)	55 (1.83)	12,951 (4.08)	4,913 (163.77)	692,047 (219.35)	
	水痘		2	7	2	1	2	14 (0.47)	5 (0.17)	1,290 (0.41)	358 (11.93)	45,651 (14.47)	
	手足口病			8	1	1	9	19 (0.63)	17 (0.57)	3,673 (1.16)	2,635 (87.83)	386,032 (122.36)	
	伝染性紅斑	3	2	21	2	2	1	31 (1.03)	23 (0.77)	1,745 (0.55)	688 (22.93)	96,857 (30.70)	
	突発性発疹	1	3	4	2			10 (0.33)	12 (0.40)	1,249 (0.39)	466 (15.53)	57,769 (18.31)	
	ヘルパンギーナ		1	1				2 (0.07)	3 (0.10)	509 (0.16)	758 (25.27)	95,181 (30.17)	
	流行性耳下腺炎			1				1 (0.03)	2 (0.07)	264 (0.08)	46 (1.53)	13,913 (4.41)	
	RSウイルス感染症			1			4	5 (0.17)	2 (0.07)	1,828 (0.58)	1,250 (41.67)	130,116 (41.24)	
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	3 ()	1 (0.33)	299 (0.43)	
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	2 (0.67)	418 (0.60)	59 (19.67)	20,618 (29.71)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	3 (0.38)	412 (0.86)	
	無菌性髄膜炎							()	()	11 (0.02)	5 (0.63)	697 (1.46)	
	マイコプラズマ肺炎		1	2				3 (0.38)	3 (0.38)	246 (0.51)	129 (16.13)	4,776 (9.97)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	2 ()	4 (0.50)	83 (0.17)	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			1				1 (0.13)	1 (0.13)	2 ()	92 (11.50)	4,655 (9.72)	
計	9	37	137	27	14	41	265		43,095	28,955	3,391,794		
小児科定点当たり人数	(4.00)	(4.99)	(11.71)	(8.21)	(7.00)	(8.13)	(8.35)			(780.91)			
前週	4	25	119	24	7	34		213					
小児科定点当たり人数	(2.00)	(3.51)	(10.11)	(7.86)	(3.50)	(6.80)		(6.83)					

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点当たり

第47週

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(46週)	高知県(47週末累計)		全国(46週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/11/24	H30/12/31～R1/11/17	
小児科	インフルエンザ	0.50	0.27	0.81	1.20		0.13	0.52	0.15	1.84	290.81	301.28	
小児科	咽頭結核熱			0.27	0.67	0.50	1.20	0.40	0.27	0.50	24.67	19.64	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.43	4.45	4.00	3.50	2.00	2.93	2.43	2.58	94.97	92.97	
	感染性胃腸炎	1.50	2.14	2.27		1.00	1.60	1.77	1.83	4.08	163.77	219.35	
	水痘		0.29	0.64	0.67	0.50	0.40	0.47	0.17	0.41	11.93	14.47	
	手足口病			0.73	0.33	0.50	1.80	0.63	0.57	1.16	87.83	122.36	
	伝染性紅斑	1.50	0.29	1.91	0.67	1.00	0.20	1.03	0.77	0.55	22.93	30.70	
	突発性発疹	0.50	0.43	0.36	0.67			0.33	0.40	0.39	15.53	18.31	
	ヘルパンギーナ		0.14	0.09				0.07	0.10	0.16	25.27	30.17	
	流行性耳下腺炎			0.09				0.03	0.07	0.08	1.53	4.41	
	RSウイルス感染症			0.09			0.80	0.17	0.07	0.58	41.67	41.24	
眼科	急性出血性結膜炎										0.33	0.43	
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.67	0.60	19.67	29.71	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.38	0.86	
	無菌性髄膜炎									0.02	0.63	1.46	
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.40				0.38	0.38	0.51	16.13	9.97	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.50	0.17	
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			0.20				0.13	0.13		11.50	9.72	
計	4.00	4.99	11.71	8.21	7.00	8.13	8.35			780.91			
前週	2.00	3.51	10.11	7.86	3.50	6.80		6.83					

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第47週)

